

第5回

「家のひくひりみひは、夏をきつて
夏とくべつ」も過去のいふ。

今年4月から、新築戸建て住宅も「長野県建築物環境エネルギー性能検討制度」の義務対象になった。この機会に、県がこの制度を通して目指していることや、本来、消費者が住まい選びの際に知っておくべき、住まいの『燃費性能』と『健康性能』との関わりなどについて、シリーズでお届けする。

今年4月から、新築戸建て住宅も「長野県建築物環境エネルギー性能検討制度」の義務対象になった。この機会に、県がこの制度を通して目指していることや、本来、消費者が住まい選びの際に知っておくべき、住まいの『燃費性能』と『健康性能』との関わりなどについて、シリーズでお届けする。

前回まで、住まいの断熱性能の大切さについて説明してきた。しかし一方で、兼好法師は徒然草に「家のつくりようは夏をもって旨とすべし」と書き残している。現代でもこの言葉を基に、「夏を旨とする」住まいづくりがこたわっている住宅事業者は少なくない。今回は、このことについて考えてみたい。

「信州の健康・省エネ住宅を推進する会」会長の高木直樹信州大学工学部教授によると、英国の健康省は、冬の室内の健康な温度は、21℃と定めているという。さらに16℃だと呼吸器障害・心疾患など深刻なリスクが現れる温度、10℃だと高齢者に低体温症が現れる温度としているそうだ。

さて、兼好法師時代のデータは残っていないが、図のように厚生労働省人口動態統計によると、カナダやスウェーデンなどが岩前教授によ

「信州の健康・省エネ住宅を推進する会」会長の高木直樹信州大学工学部教授によると、英国の健康省は、冬の室内の健康な温度は、21℃と定めているという。さらに16℃だと呼吸器障害・心疾患など深刻なリスクが現れる温度、10℃だと高齢者に低体温症が現れる温度としているそうだ。



出典：厚生労働省人口動態統計

近畿大学岩前教授

毎週水曜日掲載/次回掲載は5月6日(水)予定

一般社団法人日本エネルギー・バス協会編
03-6262-4496

ミサワホームは「長野県建築物環境エネルギー性能検討制度」の趣旨に賛同しています

～おかげさまで「蔵のある家」は、誕生20周年～

累計販売棟数60,000棟達成

平成26年9月現在(ミサワホーム調べ)

「蔵のある家」は、ミサワホームの発明です。

住まいを通じて生涯の幸せを
MISAWA ミサワホーム甲信
〒390-0833 松本市鳳来2-4-0263(25)9232

詳しくはHPへ!!
ミサワホーム甲信 検索



スマートフォン
からも
アクセス!

MISAWA